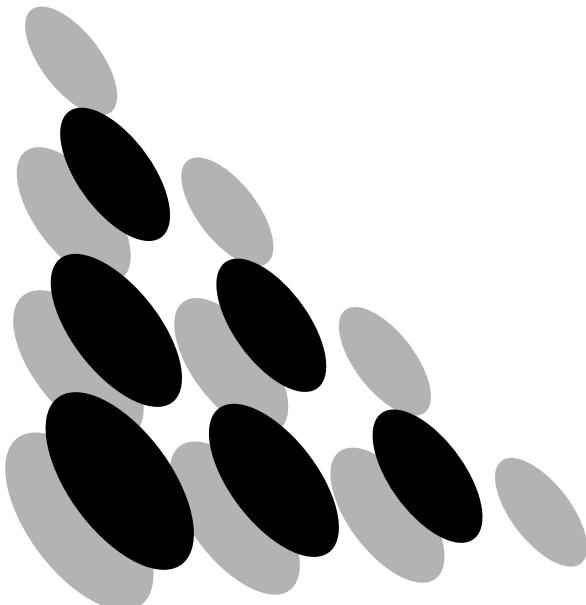


PRIMERGY

内蔵LTOユニット
(PG-LT101/PGBLT101)
取扱説明書 _____ J

Tape Drive LTO
(PG-LT101/PGBLT101)
USER'S GUIDE _____ E



FUJITSU

はじめに

このたびは、PRIMERGY（プライマジー）用内蔵LTOユニット（PG-LT101/PGBLT101）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、内蔵LTOユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取扱いをされますようお願いいたします。

梱包物を確認してください

- 内蔵LTOユニット ×1
- 保証書 ×1
- 取扱説明書 ×1
- クリーニングカートリッジ ×1

万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、弊社担当営業員または弊社担当保守員までお申し付けください。

2001年7月

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる際は次の点にご注意ください。

- 本書中の「 注意」には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品の取扱いおよび操作の際には、「 注意」文をよくお読みください。
- 本書は、本製品の使用中いつでも参照できるよう、大切に保管してください。

注意について

正しく使用しない場合、次の危険性があることを示します。

- 傷害を負う危険性
- 本製品やサーバ本体が破壊される危険性

取り扱い上の注意

△注意

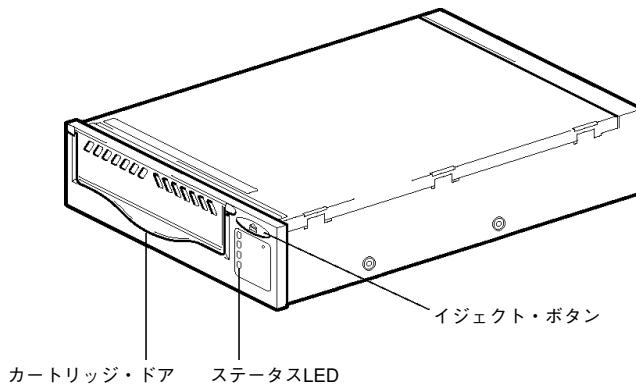
本製品は精密機械ですので以下のことについて注意してください。

- 装置内にデータカートリッジを入れたままにしないでください。データカートリッジの寿命が極端に短くなったり、装置が故障したりするおそれがあります。データカートリッジは、バックアップ処理の開始に先立ちセットし、バックアップ処理完了後は速やかに取り出してください。
- 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- 直射日光のある場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- 衝撃や振動の加わる場所での使用は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。もし、何か異物が入ったときは、弊社担当営業員または弊社担当保守員にご相談ください。
- サーバ本体の電源を切るときは、データカートリッジを取り出してください。
- 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、水または薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で、軽くふいてください。アルコールやベンジン、シンナーなど揮発性のものは避けてください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカートリッジを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、最低1時間以上待ち、室温になじませてから電源を入れてください。
- お使いにならないときは、本製品からデータカートリッジを取り出してください。また、データカートリッジを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

目次

| | |
|---------------------------|---|
| 1 各部の名称と働き | 1 |
| 2 SCSI ID番号の設定について | 3 |
| 3 データカートリッジについて | 4 |
| 4 クリーニングについて | 6 |
| 5 バックアップの運用に関する注意事項 | 7 |
| 6 仕様 | 9 |

1 各部の名称と働き



J

(1) カートリッジ・ドア

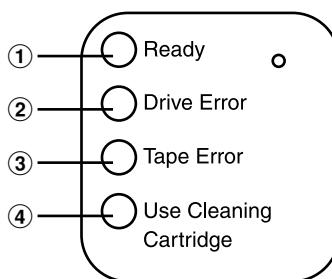
カートリッジをセットするときは、カートリッジ・ドアを上に開いてください。

(2) イジェクト・ボタン

ドライブに入っているカートリッジを取り出すときに押します。

通常の手順でカートリッジが排出されないときは、イジェクト・ボタンを5秒間押し続けると、緊急アンロードされます。

(3) ステータスLED



① Ready (グリーン)

- ・オンの場合： ドライブは使用可能
- ・オフの場合： ドライブの電源がオフ、または自己診断中に障害があった。
- ・点滅している場合： ドライブは使用中

② Drive Error (イエロー)

- ・オフの場合： エラーなし
- ・点滅している場合： ハードウェアに障害があります。

③ Tape Error (イエロー)

- ・オフの場合： エラーなし
- ・点滅している場合： ドライブに現在セットされているカートリッジに問題があります。カートリッジを交換してください。

④ Use Cleaning Cartridge (イエロー)

- ・オフの場合： クリーニング不要
- ・オンの場合： クリーニングカートリッジを使用中
- ・点滅している場合： クリーニングが必要です。

本製品は、電源が投入されるか、リセットされると自己診断テストを行います。

その際、すべてのLEDが短時間点滅します。自己診断テストが成功すると「Ready」が点滅しその後点灯したままになります。テストが失敗した場合は「Drive Error」と「Tape Error」のLEDだけが点滅します。

Point

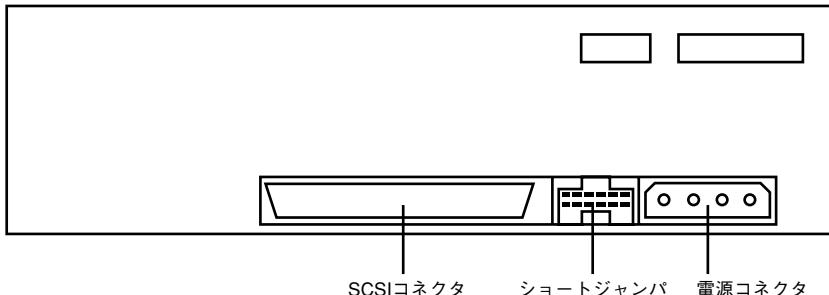
- サーバ本体の電源が入っていない状態では、データカートリッジのセット、取り出しができません。

2 SCSI ID番号の設定について

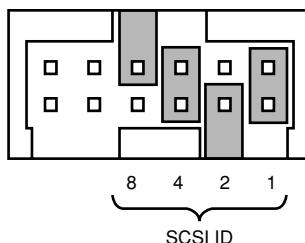
本製品のSCSI IDを設定します。

変更の必要がある場合には本製品背面のショートジャンパで設定します。

(1) ショートジャンパの位置



(2) ショートジャンパの設定



| SCSI ID 番号 | ショートジャンパ | | | |
|---------------|----------|------|------|------|
| | 8 | 4 | 2 | 1 |
| 0 | オープン | オープン | オープン | オープン |
| 1 | オープン | オープン | オープン | ショート |
| 2 | オープン | オープン | ショート | オープン |
| 3 | オープン | オープン | ショート | ショート |
| 4 | オープン | ショート | オープン | オープン |
| 5* | オープン | ショート | オープン | ショート |
| 6 | オープン | ショート | ショート | オープン |
| 7 | オープン | ショート | ショート | ショート |
| 8 | ショート | オープン | オープン | オープン |
| 9 | ショート | オープン | オープン | ショート |
| 10 | ショート | オープン | ショート | オープン |
| 11 | ショート | オープン | ショート | ショート |
| 12 | ショート | ショート | オープン | オープン |
| 13 | ショート | ショート | オープン | ショート |
| 14 | ショート | ショート | ショート | オープン |
| 15 | ショート | ショート | ショート | ショート |

* : 出荷時設定

3 データカートリッジについて

本製品には下記のデータカートリッジをお使いください。

| 品名 | 商品番号 | 備考 |
|--------------------|---------|---------|
| Ultrium1 データカートリッジ | 0160210 | 容量100GB |

(1) 使用上の注意

データカートリッジは以下の環境でお使いください。

温度：5～35°C

湿度：20～80%（結露しないこと）

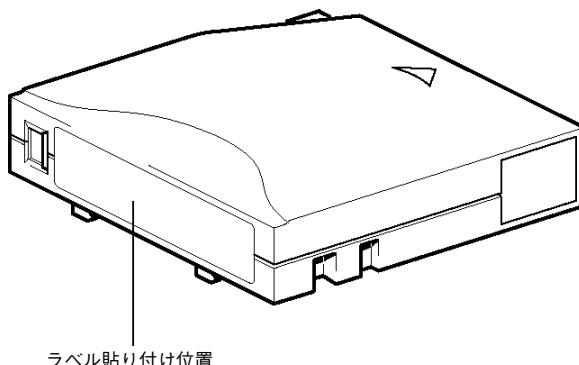
最大湿球温度：26°C

- ・結露をさけるため、急激な温湿度変化（10°C／時間、30%／時間以上）のもとにさらさないでください。
- ・使用環境が変わった場合は、新しい環境のもとに24時間程度放置してからお使いください。
- ・ほこりが多い場所や直射日光の当たる場所、湿気のある場所には置かないでください。
- ・カートリッジに衝撃を与えないでください。
- ・カートリッジを分解しないでください。
- ・カートリッジを消磁しないでください。
- ・テープ・メディアを手で直接接触らないでください。
- ・ラベルは、指定の場所以外には貼らないでください。

(2) ラベル貼り付け位置

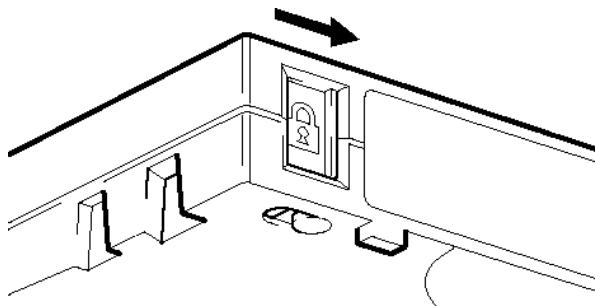
ラベルは下図に示す位置に貼ってください。

ラベルはカートリッジに添付のラベルをご使用ください。

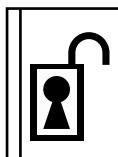


(3) 書き込み保護について

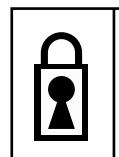
カートリッジを書き込み禁止にするには、ライトプロテクトスイッチを右にずらしてください。



J



書き込み可能



書き込み禁止

(4) データカートリッジの保管

データカートリッジを保管する場合は、プラスチックケースに入れ、保管環境の温湿度条件（16~32°C、20~80%、最大湿球温度26°C）を守って保管してください。

(5) データカートリッジの寿命について

データカートリッジは消耗品です。使用回数に限りがあります。使用回数1000回程度または1年を目安に新品と交換してください。なお、お使いになる環境（温度、湿度など）や使用方法、装置のクリーニング状況によってはテープの痛みが早い場合もありますので、早めの交換をお勧めします。

4 クリーニングについて

Point

- 本製品は、データの書き込み・読み取りに磁気ヘッドを使っています。

ヘッドがほこりやゴミで汚れていると、データの書き込み・読み取りが正常に行われません。また、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面に傷がつき使用できなくなる等の不具合が発生します。このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカートリッジによる清掃を実施してください。

本製品には下記のクリーニングカートリッジをお使いください。

| 品名 | 商品番号 |
|-----------------------|---------|
| Ultrium1 クリーニングカートリッジ | 0160290 |

「Use Cleaning Cartridge」LEDが点滅している場合、クリーニングが必要です。
クリーニングカートリッジを挿入し、クリーニングを行ってください。
クリーニングカートリッジは最大15回使用できます。クリーニングカートリッジをセットしても、「Tape Error」LEDが点灯してすぐに排出されてしまう場合には、新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

クリーニング周期について

装置の使用環境によってクリーニング要求の発生頻度は大きく変化します。環境仕様を守った好環境ではクリーニング要求は発生しないこともあります。また、逆に好ましくない環境では頻発することもあります。環境仕様を守ってご使用になり、予防処置として月一回程度のクリーニングをお勧めします。

5 バックアップの運用に関する注意事項 ■ ■ ■

● ヘッドクリーニングの実施

磁気テープ装置では、磁気媒体から染み出る汚れや浮遊塵埃などによりヘッド汚れが発生し、これらの汚れを取り除くためにヘッドクリーニングが必要となります。装置がクリーニング要求を表示した場合はヘッドクリーニングを行ってください。

● 媒体の寿命管理

テープ媒体は消耗品であり、定期的な交換が必要です。

寿命の過ぎた媒体を使用し続けるとヘッド汚れを加速するなど、装置に悪影響を与えます。媒体の寿命は、装置の設置環境／動作状態／バックアップソフトウェアの種類／運用条件により大きく変化しますが、早めの交換を推奨します。

● 媒体のローテーション運用

1巻の媒体でバックアップを繰り返すような運用では、バックアップに失敗した場合、一時的にでもバックアップデータが無くなる状態になります。また、バックアップ中にハードディスクが壊れたような場合には、復旧不可能な状態になります。

バックアップは数本の媒体をローテーションして運用することをお勧めします。

● 媒体入れ放し運用の禁止

媒体は装置内では磁気記録面が露出しており、この状態が長く続くと浮遊塵埃の影響を受けやすくなります。この状態が少なくなるように媒体は使用前にセットし、使用後は取り出して、ケースに入れて保管してください。

また、磁気テープ装置では、媒体が取り出される時にテープに管理情報の書き込み処理を行うものがあります。装置に媒体を入れたまま電源を切断するとこの処理が行われないため、異常媒体が生成される場合があります。

サーバの電源を切断する場合は、装置から媒体を取り出してください。

● バックアップ終了後の媒体の排出

バックアップソフトウェアには、バックアップ終了後に媒体をドライブから排出するように指定できるものがあります。この指定を行うとバックアップ終了後にテープが巻き戻され、媒体がドライブから排出されます。

なお、本指定を行うとサーバの構造によっては排出された媒体がドライブを覆う筐体力バーに当たる場合があります。この場合はカバーを開けておくか媒体の排出は行わないようにしてください。

● バックアップ終了後のデータの検査

バックアップソフトウェアには、バックアップ終了後に“データの検査”の実行を指定できるものがあります。この指定を行うとバックアップ終了後に媒体に書き込んだデータを読み出して、書き込み内容の検査が行われますので、信頼性は高まります。

一方、バックアップ業務に要する時間が長くなったり、媒体の使用回数が増えることによる媒体の寿命の低下、といった短所もありますので、留意してください。

- 媒体ラベルの種類と貼り付け位置

媒体に名前等を表示する場合は、媒体に添付されているラベルを使用してください。

また、媒体にはラベルを貼る個所が決められています。装置故障の原因となりますので、決められた以外の場所にラベルを貼らないようにしてください。

- データの保管

データを長期に保管する場合は、温湿度管理され、磁場の影響の少ない場所に保管してください。

- 媒体エラー（メディアエラー）が発生したとき

バックアップ処理やリストア処理中に媒体エラー（メディアエラー）が発生することがありますが、この発生要因は以下のいずれかが原因と考えられます。

- ヘッドが汚れ、データが読みにくくなった。
- テープ媒体が損傷／磨耗するなどしてデータが読みにくくなった。

ヘッド汚れの場合には、テープを新品に交換しても効果はありません。

媒体エラーが発生した場合には、以下の手順でリカバリを試してください。

- 1) テープ装置のヘッドクリーニングを行う。
- 2) エラーが発生したテープ媒体を装着して、処理を行う。
- 3) 再度エラーが発生した場合は、媒体が損傷／磨耗していると思われるため、新品のテープ媒体と交換する。

6 仕様

J

| 品名 | | 内蔵LTOユニット |
|-----------|------|-------------------------|
| 型名 | | PG-LT101 PGBLT101 |
| 質量 | | 1.9 Kg |
| 外形寸法 | | 高さ41.5mm×幅146mm×奥行221mm |
| 記憶容量 | | 100GB (非圧縮時、圧縮機能あり) |
| 実効データ転送速度 | | 7.5MB/s |
| 装置寿命 | | 5年またはテープ走行時間30000時間の早い方 |
| エラーレイト | | 10 ⁻¹⁷ 以下 |
| インターフェース | | Ultra2 Wide SCSI (LVD) |
| 環境条件 | 温度 | 10°C～35°C (稼動時) |
| | | -5°C～55°C (休止時) |
| | 温度勾配 | 10°C/H以下 (稼動時) |
| | | 20°C/H以下 (休止時) |
| | 湿度 | 20%～80%RH (結露なきこと) |
| 最大湿球温度 | | 26°C |

Introduction

Thank you for purchasing the Fujitsu internal LTO unit (PG-LT101/PGLT101) designed for the PRIMERGY.

This User's Guide explains how to use and handle the internal LTO unit (sometimes referred to as "the unit" in this guide).

Please read this guide carefully before use to ensure safe and correct use of the unit.

Make Sure You Have Everything.

- Internal LTO unit × 1
- Warranty card × 1
- User's Guide × 1
- Cleaning cartridge × 1

If any item is missing or damaged, please contact our sales representative or service person.

July, 2001

For Safe and Correct Use

Please keep the following in mind when using this unit.

- “ CAUTION” in this guide provides important information you have to know for safe and correct use of the unit. Please read the instructions under “ CAUTION” before using or handling the unit.
- Keep this guide handy, and refer to it whenever required for correct and safe operation.

About the “ CAUTION” symbol

This symbol is used to indicate the following hazards that would be posed if the unit is not correctly used or handled.

- Hazards leading to bodily injury
- Hazards leading to the breakage of the unit or server

Safety Precautions

⚠ CAUTION

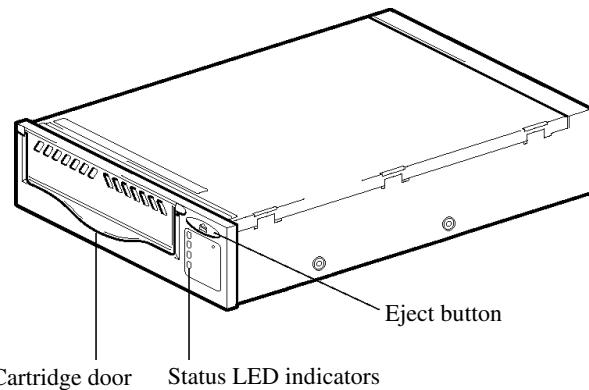
This unit is a precision device, so always take the following precautions when handling it.

- Do not leave the data cartridge in the LTO unit when the cartridge is not used. Doing so could considerably shorten the life of the data cartridge or result in a breakdown of the LTO unit. To avoid this, insert the data cartridge just before backup processing and remove it soon after the completion of backup processing.
- Do not store the unit in an extremely cold or hot location, or where the temperature will change greatly.
- Do not leave the unit in a location exposed to direct sunlight or close to a heater.
- Do not use the unit in a location subject to shock or vibration.
- Do not use the unit in a dusty or damp location.
- Never use the unit if liquid or a metal object gets in it. If a foreign object gets in it, consult our sales representative or service person.
- Be sure to eject the data cartridge before turning off the server.
- If the front panel of the unit is soiled, wipe it softly with a dry, soft cloth or a cloth moistened with water or dilute detergent. Never use volatile liquid such as alcohol, benzene, or thinner.
- Moving the unit from a cold place to a warm place, or increasing the room temperature in a short time would cause condensation inside it. If condensation occurs, do not use the unit to avoid damage to it or data cartridge. If the unit is exposed to a great temperature change, wait for at least 1 hour before turning it on.
- Remove the data cartridge from the unit whenever it is not in use. Do not carry the unit with the data cartridge left in it.
- Never take apart or disassemble the unit.

Contents

| | | |
|----------|---|----------|
| 1 | Exterior Features | 1 |
| 2 | About the SCSI ID | 3 |
| 3 | About the Data Cartridge | 4 |
| 4 | Cleaning | 6 |
| 5 | Caution Concerning Backup Processing | 7 |
| 6 | Specifications | 9 |

1 Exterior Features



(1) Cartridge door

Swing this door open upward when inserting a cartridge into the drive.

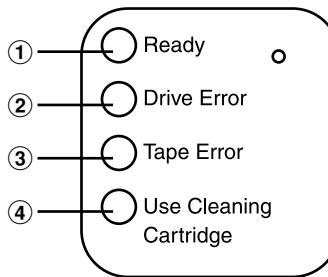
(2) Eject button

Press this button to eject the cartridge from the drive.

E

If pressing the eject button does not cause the cartridge to come out, hold it down for 5 seconds to unload the cartridge forcibly.

(3) Status LED indicators



① Ready (Green)

- ON: Drive on standby
- OFF: Drive turned off, or a defect is found by a self-check.
- Blinking: Drive in operation

② Drive Error (Yellow)

- OFF: No error
- Blinking: Hardware failure

③ Tape Error (Yellow)

- OFF: No error
- Blinking: The cartridge in the drive is defective. Replace it.

④ Use Cleaning Cartridge (Yellow)

- OFF: Cleaning not required
- ON: Cleaning cartridge in use
- Blinking: Cleaning required

The LTO unit automatically performs a self-check when it is turned on or reset.

All LEDs blink during the self-check. If no defect is found by the self-check, the “Ready” LED lights up after blinking for a while. If a defect is found, only the “Drive Error” LED and “Tape Error” LED blink.

Point

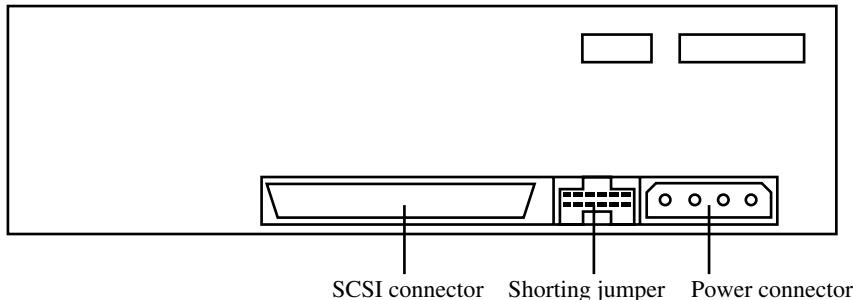
- The data cartridge cannot be inserted or ejected when the server is off.

2 About the SCSI ID

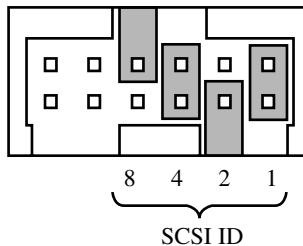
As described below, an SCSI ID is set for your LTO unit.

If needed, you can change it using the shorting jumper on the rear panel of the unit.

(1) Shorting jumper position



(2) Shorting jumper configuration



E

| SCSI ID | Shorting jumper | | | |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| | 8 | 4 | 2 | 1 |
| 0 | Open | Open | Open | Open |
| 1 | Open | Open | Open | Short |
| 2 | Open | Open | Short | Open |
| 3 | Open | Open | Short | Short |
| 4 | Open | Short | Open | Open |
| 5* | Open | Short | Open | Short |
| 6 | Open | Short | Short | Open |
| 7 | Open | Short | Short | Short |
| 8 | Short | Open | Open | Open |
| 9 | Short | Open | Open | Short |
| 10 | Short | Open | Short | Open |
| 11 | Short | Open | Short | Short |
| 12 | Short | Short | Open | Open |
| 13 | Short | Short | Open | Short |
| 14 | Short | Short | Short | Open |
| 15 | Short | Short | Short | Short |

*: Factory default setting

3 About the Data Cartridge

Use the following data cartridge for your LTO unit.

| Product name | Supplier | Remarks |
|--|---------------------------|-------------------------|
| LTO Ultrium 1 Data Cartridge (LTO FB UL-1 100G E) | FUJI PHOTO FILM Co., LTD. | Storage Capacity: 100GB |

(1) Caution about use

Use the data cartridge under the following environmental conditions:

Temperature: 5 to 35°C

Humidity: 20 to 80%RH (no condensation)

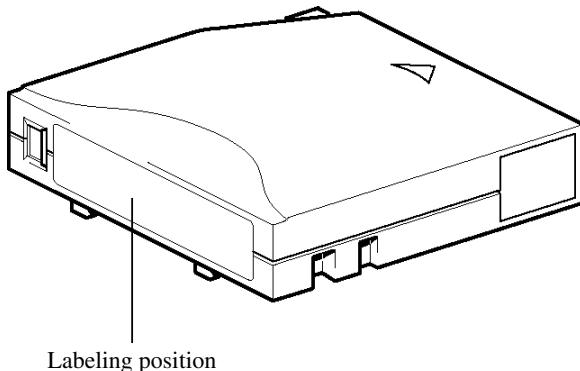
Maximum wet-bulb temperature: 26°C

- To avoid condensation, do not expose the cartridge to a sudden temperature or humidity change (change of 10°C/h, 30%/h or higher).
- When the use environment is changed, let the cartridge stand in the new environment for 24 hours or so before using it.
- Do not place the cartridge in a dusty or damp location, or where it will be exposed to direct sunlight.
- Be careful not to apply impact loads to the cartridge.
- Do not take apart the cartridge.
- Do not demagnetize the cartridge.
- Do not touch the magnetic surface of the tape directly with the hand.
- Do not affix a label in any position other than that designated.

(2) Labeling position

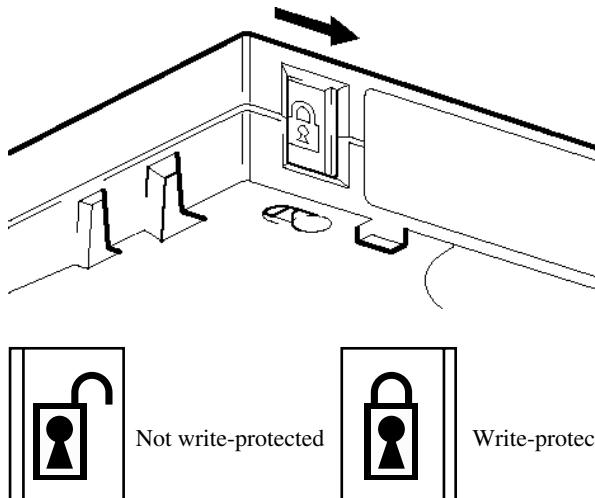
Affix a label to the position indicated in the following figure.

Use the label that came with your cartridge.



(3) Write-protection

To write-protect a cartridge, slide the write-protect tab to the right, as shown in the following figure.



(4) Storage of the data cartridge

Store the data cartridge in its plastic case when it is not in use, and keep it under the following temperature and humidity conditions: temperature 16 to 32°C, humidity 20 to 80%RH, and maximum wet-bulb temperature 26°C.

(5) Useful life of the data cartridge

The data cartridge is a consumable part. After using the data cartridge about 1,000 times or for one year, replace it with a new cartridge. It is advisable to replace it in good time since the tape may deteriorate in a shorter period of time than designed, depending on the use environment (ambient temperature, humidity, etc.), use conditions, and cleaning conditions.

4 Cleaning

Point

- The LTO unit uses a magnetic head to write and read data.

If soiled with dust or dirt, the magnetic head does not read or write data correctly. Also, it could reduce the life of the data cartridge, scratch the magnetic surface of the tape, or cause other kinds of trouble making it impossible to use. To avoid trouble, clean the head occasionally using a cleaning cartridge.

Use the following cleaning cartridge to clean the magnetic head of the unit.

| Product name | Supplier |
|--------------------------------------|----------------------|
| HP Ultrium cleaning cartridge C7979A | Hewlett-Packard Ltd. |

The “Use Cleaning Cartridge” LED blinks when cleaning is required. If this LED blinks, insert a cleaning cartridge into the drive to clean it. The cleaning cartridge can be used 15 times maximum. If the “Tape Error” LED blinks and the cleaning cartridge is ejected immediately after it is inserted, replace the cleaning cartridge with a new one.

About the cleaning frequency

The frequency at which the need for cleaning arises greatly varies depending on the use environment of the unit. The LTO unit may not require cleaning if it is used in a specified favorable environment, while it may require frequent cleaning if it is used in an unfavorable environment. It is advisable to use the unit in a recommended environment and to clean the head once a month or so by way of prevention.

5 Caution Concerning Backup Processing ■

- Cleaning of the magnetic head

The magnetic tape unit requires cleaning to remove dust or dirt from the magnetic head, which can be soiled with suspended dust or dirt oozing from the magnetic media. Clean the head whenever your LTO unit makes a request for cleaning.

- Managing the life of tape media

Tape media is consumable and requires periodical replacement.

Using tape media beyond its safe useful life would cause the head to soil easily, and thus adversely affects the LTO unit. The useful life of tape media greatly varies depending on the use environment and operating conditions of the unit, the backup software used, and also the use conditions of the media. So it is advisable to replace tape media in good time.

- Using several pieces of tape media in rotation

When a single piece of tape media is used repeatedly, backup data will be lost temporarily if backup processing fails, or it will become impossible to restore data if a hard disk fails during backup processing.

To avoid such trouble, it is recommended to use several tapes in rotation.

E

- Prohibition of operation with tape media left in the drive

Since the magnetic surface of tape media is always exposed when the media is loaded in the unit, the longer the time for which the media is loaded in the unit, the more it is affected by the suspended dust. To reduce such time, insert a tape just before use, remove it soon after use, and always store it in its case.

For some magnetic tape units, data management information is written on the media immediately before the media is ejected. If such a unit is turned off with the media left in it, no management information will be written on the tape, and as a result the tape media could become defective.

To avoid such trouble, always eject the media from the unit before turning off the server.

- Ejecting the media after the completion of backup processing

Some backup software products allow you to specify whether to automatically eject the media after the completion of backup processing. If you enable this option, the tape is automatically rewound and ejected from the drive on completion of backup processing.

Depending on the structure of the server, selecting the “Auto-eject” option may cause the ejected media to strike against the cover of the bay in which the drive is installed. In such a case, leave the cover open if you enable the “Auto-eject” option, or disable this option if you do not want to leave the cover open.

- Data check at the completion of backup processing

Some backup software products allow you to specify whether to check copied data at the completion of backup processing. If you enable this option, data copied to the media is read and checked for errors on completion of backup processing, in order to increase its reliability.

Enabling this option, however, has the demerits of increasing the time required for backup processing and of reducing the life of media by increasing the number of times the media is used.

- Label type and labeling position

If you want to write down a name or other information on a cassette, use the label included with the cassette.

The position where you are allowed to affix a label is designated for each cartridge. To avoid damage to the unit, do not affix a label to any position other than that designated.

- Storage of tape media

When storing tape media for a prolonged period of time, store it where there is no strong magnetic field, and the temperature and humidity are controlled properly.

- If a media error occurs

A media error may occur during backup processing or restoring for either of the following reasons:

- a) Data cannot be read correctly because the head is soiled.
- b) Data cannot be read correctly because the tape is damaged or worn out.

When the head is soiled, it is useless to replace the tape with a new one.

If a media error occurs, perform the following steps to restore the LTO unit.

- 1) Clean the head of the unit.
- 2) Using the tape media that was being used when a media error was occurred, perform backup processing.
- 3) If a media error reoccurs, replace the tape with a new one since the tape is considered to be damaged or worn out.

6 Specifications

| | | |
|------------------------------|---|--|
| Product | Tape Drive LTO | |
| Model | PG-LT101 PGBLT101 | |
| Mass | 1.9 kg | |
| Outside dimensions | 41.5 (H) × 146 (W) × 221 (D) mm | |
| Storage capacity | 100 GB (If data is not compressed, data compression feature provided) | |
| Effective data transfer rate | 7.5 MB/sec. | |
| Useful life of the unit | 5 years or tape running time of 30,000 hours, whichever is shorter | |
| Error rate | Less than 10^{-17} | |
| Interface | Ultra2 Wide SCSI (LVD) | |
| Environmental conditions | Temperature | 10 to 35°C (in operation) –5 to 55°C (out of operation) |
| | Temperature gradient | Max. 10°C/h (in operation) Max. 20°C/h (out of operation) |
| | Humidity | 20 to 80%RH (no condensation) |
| | Maximum wet-bulb temperature | 26°C |
| | | |

MEMO

MEMO

MEMO

**PRIMERGY
内蔵LTOユニット
(PG-LT101/PGBLT101)
取扱説明書**

**Tape Drive LTO
(PG-LT101/PGBLT101)
USER'S GUIDE**

P3FY-1560-01

発行日 2001年7月

発行責任 富士通株式会社

Date issued: July 2001

Published by:Fujitsu Limited

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- The contents of this manual may be revised without prior notice.
- The publisher assumes no responsibility for any infringement on the patents
and other rights of third parties resulting from the use of the information
contained herein.
- No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form by
any means without prior permission in writing from Fujitsu Limited.

FUJITSU